

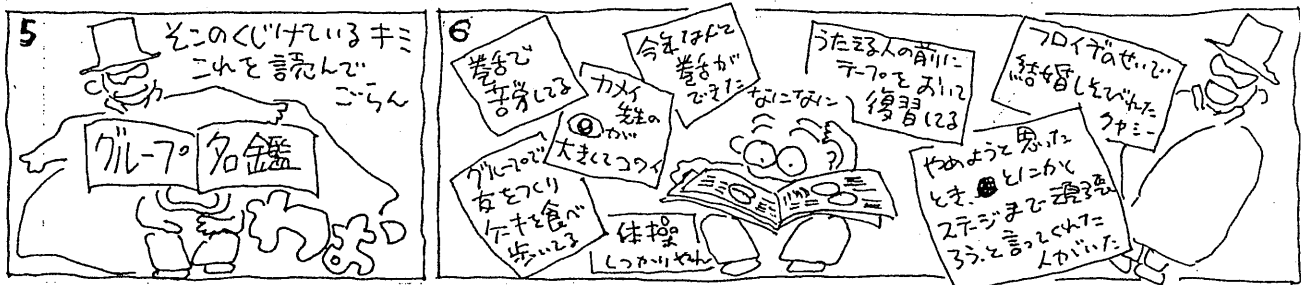
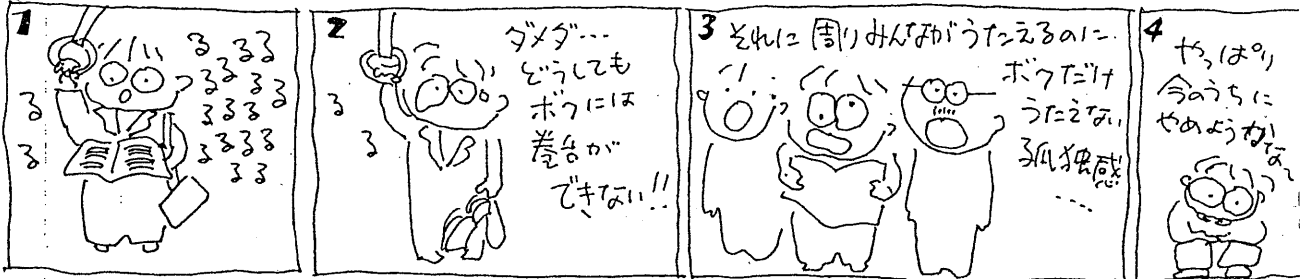
# Freude

vol.13-12 2019.11.6.wed

## 大阪フロイデの仲間

大阪フロイデ合唱団 Tel 06-6358-2626  
〒530-0041 大阪市北区天神橋2-1-18-4B  
ホームページ <http://www.osakafreude.com>  
メールアドレス info@osakafreude.com

### 今日から名鑑づくり (おひなまつり?) 早くに お誕生(お?)!



団では「恒例」の自己紹介書「人名鑑」を作成します。原稿用紙は本日配付。お当り-2-(おひなまつり?)

	11/13(水)	11/20(水)	11/27(水)	12/4(水)
	18:30~	18:30~	18:30~	18:30~
	花江 淳一	花江 淳一	花江 淳一	花江 淳一
	(おひなまつり?)	(おひなまつり?)	(おひなまつり?)	

11/1 & 3 練習用紙

P.27 63 ~ 77

11/1 は E-11 part の Credo の 内部部 (多難あり) を用いた

11/3 は E-11 part も 内部にも Sanctus & Benedictus を 練習用紙

Sanctus 75音 (下記は E-11 part の 77音)

Sanctus, Dominus, Deus Sabaoth.  
浅く読む (ニニニニ) 「七」ニニ

Pleni & excelsis a 2  
Plur 言えし読み  
母音のうは 下りておほ!

Pleni sunt caeli et terra gloria tua.  
ナニ

ニニニ  
T-I-V-E  
日本語の  
読み

Hosanna in excelsis.

CHは発音(まね) l'osanna luix

上層に上層に  
Sia  
花のうろこ

★ 11/1 の caeli は coeli, Hosanna は Osanna と 書かぬ子孫の発音は 同い。

Benedictus 75音

「qui」は 有聲子音と無聲子音の区別  
2つの音 上層と下層にあり 3つあり  
nomine 2  
ナニニニ

Benedictus qui venit in nomine Domini  
深く 読み

★ E-11 part Benedictus の注意

• tria 3つの P.56 37, P.57 49, P.59 79 → 1音上の音と可及なく入れる。

たににに T-I-V-E 37 ⇒ 79 は

• Benedictus の J-2 から Hosanna に 読み替る 11/1 の 日本語の 11/1 は Die Seite 40 5, 52 は 52 12 31 - 52 3 = 2?

★ 11/1 の Osanna ~ a の注意

11/1 R.103 34, R.119 141

Part P.102 30 31, P.118 137 138

## 「ハイドンとモーツァルトのこと、知っておこう」（ネットつまみぐいゴメン）シリーズ

### ▶アマハ学後音楽教育支援サイト「音楽にふいふ 逸話を綴る」音楽史にふいふ 2013.10.27 「ハイドンとモーツァルト」より抜粋

1732年生れのハイドンが、エステルハーザ家の楽長職についたのは、彼が29歳のときでした（当初は副楽長、5年後に楽長）。そして、58歳までの30年にもおよぶ年月にわたって楽長職を務め、その後は自由な音楽家として、名声と富に包まれながらその生涯を静かに終えました。それに対して、優れた音楽家を父として生れ、幼少から英才教育を受けたモーツァルトは、早くからヨーロッパ各地に旅行をして、神童の名を欲しいままにしました。しかし、25歳でウィーンに自立してからの10年間は、経済的にも恵まれず、人からも受け入れられず、不遇ともいべき境涯のうちにその生を終えたのです。ハイドンの77年という長い生涯のうち、モーツァルトはハイドンの24歳から59歳までの35年間と、僅かにその生涯を重複させているに過ぎません。年齢的にもハイドンの方が24歳も年長であったにもかかわらず、モーツァルトの死後もその活動の時期を伸ばし、ある点では後輩のモーツァルトに影響されたところすら皆無とはいえません。

### ▶久元祐子「モーツァルト周辺の作曲家たち」

フランツ・ヨーゼフ・ハイドン（Franz Joseph Haydn 1732 - 1809）の人生は、モーツァルトと対照的だったかもしれません。35年あまりの短い生涯を悲劇的な最期で終えたモーツァルトと異なり、ハイドンは、とても長い音楽人生を送りました。大バツハの死よりも18年前に生まれたハイドンが亡くなったのはメンデルスゾーンが生まれた年でした。モーツァルトは、貴族社会の中に生を受けましたが、ハイドンは、典型的な農村であったローラウで、車大工の子として生まれました。モーツァルトが、最先端のロココの優雅な音楽に触れて育ったのに対し、ハイドンが子供のときに聴いた音楽は、オーストリアの田舎の音楽であり、その中には、ハンガリーやジプシーの民族音楽も混じっていました。

モーツァルトが早くから優れた音楽家たちに囲まれ、父親から専門的な音楽教育を受けたのに対して、ハイドンはウィーンに出て合唱団に入ったものの、変声期に入ると追い出され、ほとんど独学で音楽を勉強しました。モーツァルトが、神童としての名声を早くからほしいままにしたのに対し、ハイドンは、ゆっくりと、そしてじっくりと、自らの音楽人生を創り上げていきました。また、ハイドンは自然に愛着を感じていたようですが、モーツァルトはその膨大な手紙の中で自然や風景の美しさを愛でた部分はほとんどないようです。

このように、モーツァルトとハイドンは、対照的な人生を送りましたが、互いに作風の違いを意識しつつもその真価を認め合い、尊敬の気持ちを抱き続けました。

モーツァルトが自分よりも24歳年長であったハイドンに抱いた尊敬の気持ちは、1785年にハイドンに捧げられた有名な6曲の弦楽四重奏曲 — ハイドン・セットに込められています。一方、ハイドンの方も、モーツァルトのことを高く評価し、ウィーンを訪れた父親レオポルドに会ったとき、こう言ったと言われます。 — 「私は誠実な人間として神にかけて申し上げますが、御子息は、私が直接知っている、あるいは名前だけ知っている作曲家の中で、最も偉大な方です。……」

1) 団員数

10/30現在

	ソプラノ	アルト	テノール	バス	合計
継続団員	19	23	10	7	59
新入団員	3	2	-	-	5
復帰団員	-	1	1	1	3
合計人数	22	26	11	8	67

2) 運営体制について→部活の状況

- ・受付部…基本的に現在担当して下さっている方々は継続して担当いただいています。ただし、先期までの楽譜窓口の方が一人休団されたのと、チケット窓口強化をはかるため、チケット・楽譜でメンバー調整中です。
- ・名鑑部…10月23日に係集合して、動き始めています。(リーダー河野ゆかりさん)
- ・宣伝…Facebookでフロイデ練習を話題にしたりしてくれています。チラシ発行後は、宣伝部員だけでは足りないのでは、ぜひ、団員全員が、チラシ活用(チラシ置きなど)に携わるようにしてくださいね!
- ・会場予約…4月12日の会場予約(日曜なので、はずれると一大事! 重複して当選してもよいので、手分けして複数会場に抽選に行くことが重要!)から、既に活動しています(リーダー杉田さん)
- ・荷物運び…水曜リーダー板井さん、日曜リーダー河野さんのモト、ローテーションで動いています。
- ・パソコン作業…現在、依頼する内容を団長が整理中です。出席簿・団員証・受付用名簿等(主にエクセル作業)をお願いする予定です。整理次第、お声掛けします。  
「作業できるよ」と書いてくださった方々、しばしお待ちください。(エクセル作業可能な方をお願い予定です)
- ・体操…体操のおにいさん、おねえさん、引き続き活躍して下さっています!

3) チラシ&チケット関連

- ◆ チケット説明会: 1/18 (土) 強化練習終了後
- ◆ チケット受付開始: 1/22 (水)
- ◆ チラシ完成は1/15 (水) 予定(掲載内容の確定と印刷屋さんの状況により、年内は困難)
- ◆ 座席と価格は、先シーズンと同じS4500円、A4000円、B2000円の予定(前売り価格)です。
- ◆ 先シーズンは、チケット申込期間を3ヶ月確保できたことにより、ほぼ満席まで持ってこれました。今回も、なんとか申込期間を3ヶ月近く確保したいため、「チラシ完成→チケット説明会→受付」がタイトなスケジュールとなっています。そのため、みなさんには、チラシ完成以前に、各自で、年内からお友達に宣伝していただき、申込初日に申し込めるよう、準備していただきたいです。そのために、演奏会内容を書いたプリントを12月初旬に準備予定です。

★次回団員は12/6予定あり!

と、「1/18 運営委員会はこうだったよ」とか。

1/3に うち組...つまり次回の演奏会の内容?とか

書ける範囲でなるべく手紙とかもできるしおねえと  
チラシ年内、何れかもでき!!

次のコンサート情報は近々発表あり!!

えろ 3期終了 ☆



わー!! 団員 結構 増えちゃったよ〜と うれい  
ワタシ。